



NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2022
5月号

●発行／一般社団法人
日本栄養経営実践協会
(JANMP)
〒104-0032
東京都中央区八丁堀3-20-5
S-GATE 八丁堀9階
●制作／株式会社日本医療企画

お問い合わせ先／一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 <http://nutrition-management.jp>

第7回「全国栄養経営士のつどい」東京大会

栄養経営士の時代がやってきた！ —知恵と志で挑む新時代の栄養—

今こそ全国の栄養経営士が行動し 新しい栄養の世界を切り拓こう！

一般社団法人日本栄養経営実践協会(代表理事宮澤靖)は、第7回となる「全国栄養経営士のつどい」を2022年9月11日(日)に東京(場所未定)で開催することが決定した。今年も会場とオンラインのハイブリッド開催を予定しており、多くの栄養経営士の参加を期待している。

基調講演は水野英彰氏
実りある内容に期待

「全国栄養経営士のつどい」は今年で第7回目を迎え、大会テーマは「栄養経営士の時代がやってきた！—知恵と志で挑む新時代の栄養—」に決定した。会場は東京都内を予定しており、会場とオンラインのハイブリッドでの開催となる。

基調講演には、栄養療法に造詣が深い医師であり、副院長という



昨年の仙台会場では感染拡大防止対策を行い、十分な距離と換気を行いながら開催した

立場で病院経営にも携わっている水野英彰氏(医療法人社団悦伝会 目白第二病院副院長)の登壇が決定した。演題や内容については未定だが、確かな知識と豊富な経験に基づいた、栄養経営士にとって実りある講演内容となることは間違いないだろう。

このほかにも、看護師など多職種を招いてのディスカッションや、病棟常駐に向けた給食管理に関するプログラムなど、盛りだくさんでお届けする予定である。

昨年、全国大会で行い大変好評だった「栄養経営士オンラインサロン特別版」も開催予定なので、ぜひ楽しみにしていただきたい。

「実践報告」を通じて全国の仲間と繋がろう

「実践報告」は全国で活躍する栄養経営士

「全国栄養経営士のつどい」東京大会開催に向けて

東京医科大学病院 栄養管理科 科長
一般社団法人日本栄養経営実践協会 代表理事
宮澤 靖



管理栄養士の未来に向けた 布石となる大会に

「全国栄養経営士のつどい」も今回で7回目を迎える運びとなりました。毎回、参加するたびに学びがあり、また学びが深められる内容ばかりで、私自身も大変勉強になっております。これは会員の皆さまの実践を元にした発表だからこそこの学びであり、また、それだけ皆さまが日常的に所属施設で実践されている証でもあります。

これからは少子高齢化がさらに進み、患者は増えてもメディカルスタッフが減っていく時代になります。今までは医師の全方向指示を受けて具現化していたものを、今後は私たち管理栄養士が自ら考え、発信する力を持たなければ、チーム医療に貢献できなくなるのではないのでしょうか。また、国は病院から施設、施設から在宅での医療へとシフトを進めています。院内・施設内での多職種連携やチーム医療から、地域でのチーム医療が求められる時代へと変わり、「いかに効率よく地域医療を回すか」がこれからの課題になっていくでしょう。

今年(2022年度)の診療報酬改定は栄養にとって追い風となるものでした。次の24年度は、医療と介護のW改定となります。今回の追い風に乗れ、次回改定までの2年間できちんと成果を出して、管理栄養士の活動について広く認知していただく必要があります。そのためには管理栄養士は施設で、地域で、医師からこれだけのことがタスクシフト可能であるということを示していかなければなりません。協会としては、そうした活動へのサポートも展開していきたいと考えております。

今回の「つどい」での学びを参加者一人ひとりが各職場に還元していただき、2年後の改定を本当に良い形で迎えることができ、管理栄養士たちが幸せな栄養士人生を送れるようになる—そうした未来に向けた、布石の大会になればと思っております。

どうぞ、一人でも多くの皆さまにご参加いただけることを祈念しております。

が自分たちの日々の活動や取り組みをまとめ、参加者の前で発表する、全国大会におけるメインイベントである。

栄養経営士は病院、介護福祉施設、給食会社、学校、企業等さまざまなところに所属している。「実践報告」ではそれぞれの立場に

なる可能性もあるの
で、ぜひ参考にしたい
です。ぜひ、一人
人でも多くの栄養経営
士に発表者として参加
していただきたい。
大会の詳細と参加方
法は、当協会のホーム
ページにて、決定次
第、順次公開してい
く。会員向けメールマ
ガジン等でも紹介する
ので、ぜひチェックし
て欲しい。

▼第7回全国栄養経営士のつどい
東京大会のサイトはこちら



参加者・発表者募集中!

NME REPORT
栄養経営士
活動報告

栄養経営士活動報告 特別版

2年の準備期間を計画的に活用し
病院特性を守りつつ委託化を実現



栄養経営士の鵜飼真千子さん

開院当時から、直営による給食管理に提供してきた栄養経営士の鵜飼真千子さん(医療法人深仁会手稲家庭医療クリニック)。しかし、管理栄養士の専門性が求められるなかで方針を転換し、組織の協力を得ながら、約2年かけて委託化を実現。委託化までの経緯と成果についてお聞きしました。

開院時からの直営方針を転換し委託化へ
当院は2009年に開院し、終末期という入院患者の特性から、直営で質が高くきめ細かな食事提供に力を入

れていました。患者さんの病態を知る管理栄養士が直接給食を管理することによって、献立や食材選択、調理の際の配慮が可能となり、喫食量や食事満足度が高まると考えてきたからです。

一方で、多職種協働のチーム医療を提供しており、管理栄養士としての専門業務も大切にしてきました。しかし年間約1300件の外来栄養指導のほか、入院患者の栄養管理に加え在宅訪問栄養指導も年々増加し、スタッフの時間的・労力的負担が大きくなっていました。さらには管理栄養士として臨床業務でより幅広く専門性を発揮することが期待されるようになり、当法人のなかで直営管理だったのは当院のみであったことや将来的な厨房の人員確保なども

考えると、給食管理業務の委託化は避けられないと覚悟を固めました。

18年5月から委託に向けて動きはじめ、納得のいく体制を整えるために、約2年の準備期間を設定しました。

目標に掲げたのは、「委託化しても質の高い食事を提供する」ことでした。当院は、手稲深仁会医療センターという組織の一部であるため、クリニック内のマネジメント層とセンターの経営層、両方のコンセンサスを得る必要がありました。

クリニック内では「食事の質を担保することが大前提」との思いで一致。センター長も組織として「食事の質は落とさない」と意思決定をしてくださり、そのおかげで、各部署から協力を得ることができました。

委託後も80%以上の食事満足度を維持

委託化の検討会議では、過去3年分の収支実績と、委託後の業務計画から見込まれる収入の変化を提示しました。管理栄養士が得る収入に加え、委託化で得られる時間で組織や地域のニーズに応える活動の実施や患者サービスの質向上が期待できるというメリットも伝えました。

食事の質を担保するには通常の約1.5倍の委託費用がかかることが想定されました。それでも、質の高い食事が患者さんに喜ばれていること、管理栄養士の活動への理解、今後への期待から、全面的な協力を得ることができたと考えています。

委託会社の選定では、当院のコンセプトを継続できること、もちろん、北海道胆振東

病院概要

医療法人深仁会
手稲家庭医療クリニック
北海道札幌市手稲区前田2条10丁目1-10
011-685-3920
<https://www.keijinkai.com/teine-karinpa/>
病床数：19床（一般）

部地震での経験を踏まえ、災害マネジメントへの対応についても考慮しました。その結果、本院と同じ委託会社と契約し、1つひとつの献立について食材やおペレーション調整を行いました。厨房スタッフには小まめな面談などコミュニケーションを大切にし、理解と協力が得られるよう働きかけていきました。

決して順調な道のりではありませんでしたが、予定通り20年4月から、従来の献立と食材、調理員を継承した形での給食管理業務の委託化に切り替えることができました。

委託化しても食事満足度は80%以上を維持できており、新型コロナウイルス感染症により外来患者数が一時的に減少して外来栄養指導が伸びなかった点を除いては、在宅訪問栄養指導の増加、特定保健指導やオンライン栄養指導の開始、すべての入院患者に対し栄養管理介入を行えるようになるなど管理栄養士の専門業務に集中できるようになりました。

病棟に常駐したり、多職種のスタッフフルタイムに席を置くようになったことで、チーム医療の実践も円滑になったと感じています。

在宅訪問栄養指導については、一部の限られた患者さんしか介入できておらず、課題となっています。低栄養が顕著な在宅患者さんにアプローチをするためには、多職種にもっと栄養管理の大切さを理解してもらえよう、チーム医療の一員として貢献しなくてはならないと考えています。今後も患者さんに寄り添い「出会えてよかった」と思っていただけのような栄養ケアに取り組んでいきたいです。

※鵜飼真千子さんの活動報告のより詳しい内容は協会サイトの「活動報告」に掲載されています。ぜひご確認ください！



2021年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式に変わります!

「栄養経営士」
資格認定試験

- 試験日:2021年3月22日～ ※毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:2021年3月1日～(通年)
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習はWEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは 検索



★新会員サービス「オンラインサロン」大好評開催中!

管理部門とうまく連携して病棟業務に専念できる環境づくりを!

本協会の栄養経営士・栄養経営サポーターのみが無料で参加できる「オンラインサロン」。

この日最初の質問は「周術期の栄養管理と外来・入院栄養指導の加算について」でした。

最初に答えた眞壁理事は「準備はしていたが、まだ算定できていない状態。

田中理事は「加算は取れるけれど、やらなければいけない要件や書類が多すぎる。

ている様子を紹介しました。

宮澤代表理事は「うちは大学病院なので当然加算は取れるが、周術期と早期栄養介入のどちらで加算を取るかは医事課に丸投げで現場は粛々と管理栄養士としての業務を行っている。

追加で、1日当たりの算定患者数の制限(管理栄養士1人につき10名以内、NST加算もあれば合わせて15名以内)についても医事課に任せるべきか?という質問も出ましたが、こちらは「人数管理まで医事課に任せると大変なので、そこは栄養士がコントロールすべきでは」(宮澤代表理事)、「当院ではハイケアにNSTは動かしていないから人数の問題はないが、経過記録を書いているところに算定ボタンがあり、そこを押した場合に医事課が判断するという仕組みにしている。

新しく加算を取ることは業務を増やすことでもあり、いろいろとわからないこと、難しいことが出てくると思います。

ム担当といった管理部門としっかり連携し、業務を整理しながら無理なく動ける仕組みづくりからはじめてはいかがでしょうか。

「オンラインサロン」は今後も月に1回のペースで実施する予定です。

▼4月27日(水)の話題

- ・周術期の栄養管理への取り組み、加算は取れて?どのように取り組んで?
・管理栄養士の病棟配置は今どんな状況? 今後の展開はどうなる?
・これから病棟常駐の加算がつくと思われる一般病院では、何を準備すればいい?
・病棟常駐の今後の展開と加算について

■栄養経営士 オンラインサロン

◇開催日時:6月30日(木) 18:30~

◇参加対象:栄養経営士・栄養経営サポーター

◇受講料:無料

◇開催形式:オンライン配信(Zoom)

※お互いの顔を見ながら会話をするので、カメラ・マイク機能が使えないパソコン・タブレット等をご用意ください
※個別の症例の相談にはお答えできません

日本栄養経営実践協会 推薦図書

もう1段階上をめざそう! スキルアップ、学び直しに最適

協会推薦図書一覧

通勤や休憩などの隙間時間を活用して、臨床業務や栄養活動に役立つ知識を身につけましょう! 協会が推薦する、栄養経営士の皆様にお勧めの書籍・雑誌をご紹介します。お得な会員価格でお求めいただけますので、ぜひご活用ください!

術後回復を促進させる 周術期実践マニュアル



栄養管理からリハビリまで、ERASに基づく周術期管理における多職種連携のノウハウを満載。「早期栄養介入管理加算」を考える医療機関なら必携のテキスト!

- 監修:谷口英喜(済生会横浜市東部病院周術期支援センター長)
■定価:2,800円+税
会員価格:2,240円+税
■体裁:B5判/250ページ
■ISBN:978-4-86439-542-7

★今、注目の書籍!

国民の栄養白書2021年度版 日本の食と栄養が創る新時代の健康



日本の食についての見直しや日本人の健康をつかっていく取り組み、SDGsに向けた活動等について紹介します。

- 編集委員代表:中村丁次(日本栄養士会代表理事会長・神奈川県立保健福祉大学学長)
■企画・制作:ヘルスケア総合政策研究所
■体裁:B5判、並製本、204ページ
■定価:4,000円+税
会員価格:3,200円+税
■ISBN:978-4-86729-081-1

栄養管理プロセスを活用した 栄養指導事例集



栄養管理(ケア)プロセスの流れを基本に「日本人の食事摂取基準(2020年版)」を活用した栄養指導事例を紹介!

- 監修:中村丁次(神奈川県立保健福祉大学学長・日本栄養士会代表理事会長)
■定価:2,500円+税
会員価格:2,240円+税
■体裁:B5判/168ページ
■ISBN:978-4-86439-978-4

「脱水症」と「経口補水液」のすべてがわかる本



脱水症の早期発見から水分補給に役立つ「経口補水液」の使用法までわかりやすく紹介した脱水症の正しい知識と対応法が身につく一冊です。

- 編集委員代表:谷口英喜(済生会横浜市東部病院患者支援センター長/栄養部長)
■体裁:A5判、並製本、104ページ
■定価:1,080円(本体価格1,000円+税)
会員価格:800円+税
■ISBN:978-4-86439-726-1

ヘルスケア・レストラン



食事で病気を予防し治療効果をあげるための管理栄養士向け情報が満載、病院・福祉施設などの栄養ケアの向上に役立つ1冊です。

- 毎月20日発行
■体裁:A4判
■年間購読:13,200円+税
会員価格:10,560円+税

◎推薦図書の購入方法

- 1 日本栄養経営実践協会の公式サイトにアクセス
2 左下にある「協会推薦教材・図書のご案内」というボタンをクリック
3 推薦図書購入方法のページにある会員専用注文書をダウンロード
4 必要事項を記入(13桁の認定登録番号必須)のうえ下記までFAX
※支払方法等の詳細は注文用紙をご確認ください。

申し込み先FAX: 03-3553-2904

★こちらのQRコードからもアクセスできます▶



栄養経営士が知っておきたい!

イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

三経営士合同研究会

開業医から見た 地域包括ケアシステムの現状と課題

病院や診療所・高齢者施設等との地域連携に注力し、大阪市旭区で1日120人以上の患者を診察するクリニックの院長が見た現状と課題を、事例を交えて紹介します。

- 日 程：2022年7月3日(日) 14:00～16:00(開場・受付13:30～)
- 講 師：谷口一則氏(たにぐちクリニック院長)
- 会 場：本町第2ビル 2F セミナールーム ※オンライン(Zoom)あり
- 参加費(税込) 会員:2,000円 一般:3,500円
- 定 員：会場:10名 オンライン:50名(先着順)
- 主 催：日本医療経営実践協会 関西支部 / 日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部 / 日本栄養経営実践協会 関西支部 / 株式会社日本医療企画
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 関西支社(担当:新免)
TEL: 06-7660-1761



協会事務局より

2022年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。更新手続きの期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2021年8月20日～2022年8月19日の方
【個人正会員】10,000円
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2019年8月20日～2021年8月19日の方
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)
※申請書類・課題をご提出ください。
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- 支払期限：2022年7月19日(火)までに指定口座へ振り込み
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局
TEL:03-3553-2903

セミナー情報

管理栄養士のための基礎医学講座 ～脳神経疾患編～

今回のテーマは「管理栄養士が知っておくべき脳神経疾患の予防と治療」。脳梗塞や脳出血などの脳血管障害や認知症は高齢者に多く、低栄養のリスクを高め、寝たきりの原因の約半数を占めています。脳神経疾患の病態を押さえておくことで、高齢者への適切な栄養管理につながります。

- 日 程：2022年7月16日(土) 10:30～16:30
- 講 師：三浦公志郎氏(九州女子大学家政学部栄養学科 教授/医師)
- 参加費(税込)：会員7,000円 一般:8,000円
- 会 場：第三博多偕成ビル503(博多区博多駅南1-3-6)
※オンライン(Zoom)あり
- 定 員：会場:6名 オンライン:34名(先着順)
- 主催 / お問い合わせ：株式会社日本医療企画
九州支社(担当:中野)
TEL: 092-418-2828



セミナー情報

管理栄養士っておもしろい! 施設管理栄養士が行う高齢者の栄養支援

「高齢者のQOLを高めるための工夫」や「終末期を迎える高齢者との管理栄養士としての関わり方」について、ケアをしていくなかでの気付きを交えて詳しく紹介。“最期まで口から食べる支援”の意味について一緒に考えます。

- 日 程：7月1日(金) 18:00～19:00
7月2日(土) 11:00～12:00 ※内容同じ
- 講 師：高橋樹世氏(特別養護老人ホーム風かおる里 管理栄養士 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)
- 参加費：無料
- 形 式：オンライン(Zoom)
- 主催 / お問い合わせ：太陽化学株式会社 メディケアグループ
Mail:support@taiyo-medi.com



「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

DVD視聴による受講が可能!
★3枚組、特典映像付き★

栄養経営士も会員価格で聴講できます!

- 【こんな方におすすめ】
- ・会場で受講したが、内容を復習したい
 - ・栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
 - ・栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1: 90分、DISC 2: 73分)

1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
5. 適材適所の組織マネジメント
6. 病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3: 約30分)

観てわかる! 近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講 師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料：8,500円(税込) **会員価格：3,850円(税込)**